

全農薬通報

No293

平成 26年10月 20 日

目 次

◎全農薬の主な行事予定

- ・全国農薬協同組合
- ・植物防疫関係団体
- ・平成26年度植物防疫地区協議会日程（植物防疫ブロック会議）

◎組合からのお知らせ

- ・会議等の報告
- ・組合員の動き等

◎お知らせ

- ・全農薬創立五〇周年記念行事について

◎全農薬ひろば

- ・酔芙蓉



全国農薬協同組合

〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-3-4 全農薬ビル

電話 03-3254-4171 FAX. 03-3256-0980

<http://www.znouyaku.or.jp> E-mail: info@znouyaku.or.jp

全農薬の主な行事予定

「全国農薬協同組合」

【平成26年】

10月23日(木)	全農薬監査(全農薬9階会議室)
11月18日(火)	第268回理事会(全農薬9階会議室)
11月19日(水)	第49回通常総会、第269回理事会、第37回全国集会 全農薬創立50周年記念式典(千代田区大手町経団連会館)
12月10日(水)	第270回理事会(全農薬9階会議室)
12月11日(木)	全農薬受発注システム利用メーカー協議会第5回総会 (全農薬9階会議室)

※11月19日は大手町の経団連会館で全農薬創立50周年記念式典を開催致します。

※ 西川農林水産大臣出席予定(式典・記念祝賀会)

第49回通常総会

- ・日時：平成26年11月19日(水)10時～11時45分
- ・場所：経団連会館(経団連ホール北)

第37回安全協全国集会

- ・日時：平成26年11月19日(水)12時45分～14時
- ・場所：経団連会館国際会議場

全農薬創立50周年記念行事

- ・日時：平成26年11月19日(水)14時20分～19時
記念式典 14時20分～(国際会議場)
記念講演 15時30分～(国際会議場)
講師：田中理恵氏(日本体育大学児童スポーツ教育学部助教)
記念祝賀会 17時～(経団連ホール北・南)

「全国農薬業厚生年金基金」

理事会・代議員会

- ・日時：平成26年11月18日(火)10時30分～15時(全農薬9F会議室)

「植物防疫団体等」

1)「第7回環境保全型農業シンポジウム」「第18回日本バイオロジカルコントロール協議会講演会」 平成26年11月6日(木)「ホテル熊本テルサ」

2)農薬工業会虫供養

- ・日時：平成26年11月12日(水)16:00～17:45 金龍山 浅草寺本堂

3) 平成26年度植物防疫地区協議会（植物防疫ブロック会議）

開催年月日	開催会議名	開催場所(会場)・連絡先
11月20日(木) 13:30～17:00 11月21日(金) 9:00～12:00	北海道・東北地区植物防疫協議会	会場名：ハーネル仙台 住所：仙台市青葉区本町 2丁目12-7 ☎022-222-1121
11月25日(火) 13:30～18:00 11月26日(水) 10:30～16:00	関東地区植物防疫協議会	会場名：さいたま新都心 合同庁舎2号館 住所：さいたま市中央区 新都心2-1 ☎048-740-0101
11月25日(火) 13:00～17:15 11月26日(水) 9:00～12:00	植物防疫北陸地区協議会	会場名：金沢広坂合同庁舎大 会議室 住所：金沢市広坂2丁目 2番60号 ☎076-232-4106
11月27日(木) 13:00～17:00 11月28日(金) 9:00～12:00	東海・近畿地区植物防疫事業検討 会	会場名：桜華会館 住所：名古屋市中区三の丸 7-2 ☎052-201-8076
11月11日(火) 13:30～17:00 11月12日(水) 9:00～12:00	植物防疫中国・四国地区検討会	会場名：米子コンベンション センター 住所：米子市末広町 294 ☎ 0859-35-8111
11月13日(木) 13:00～17:00 11月14日(金) 9:00～12:00	植物防疫九州・沖縄地区協議会	会場名：サンプラザ天文館 住所：鹿児島市

組合からのお知らせ

1. 第2回農薬安全コンサルタントリーダー研修会

・日時：平成26年9月3日(水)～5日(金)

・場所：全農薬9F 会議室

・講義内容：今回は、北から南まで全国の組合員34名が参加。現場で役立つ内容を主眼にスライドを多く用いた現場対応型研修を実施しました。また、最終日には試験を実施、その結果、合格者は34人中21名で合格率は62%、試験の平均点は71点でした。

○害虫や病害の見本を用いた講義に研修者の関心が高まった



(最終日の試験の様子)

難関をクリアして、今回新たに以下の9名の「農薬安全コンサルタントリーダー」が誕生しました。

新しく「農業安全コンサルタントリーダー」になった皆さんおめでとう御座いました



千田和一
(株) 水沢農業



鈴木将弘
(株) 石黒製薬所



久保伸明
大信産業(株)



菅 利典
大信産業(株)



森本 彰
大信産業(株)



奥 俊一
(株) アグログリーン



福井雄一
(株) 松村農園



土屋拓郎
(株) コハタ



田中春樹
東海物産(株)

2. 第18回執行部協議会

- ・日時：平成26年9月17日(水)、10時30分～12時
- ・場所：全農薬9F 会議室
- ・議題：
 - 1) 理事会議決事項について
 - 2) 理事会協議事項について
 - 3) 理事会報告事項について
- ・出席者：青木理事長、宇野副理事長、金子常務理事、石黒常務理事、
松木理事相談役、事務局（堀江専務理事、宮坂技術顧問）

3. 創立50周年実行委員会

- ・日時：平成26年9月17日(水)、12時45分～14時15分
- ・場所：全農薬9F 会議室
- ・議題：全農薬創立50周年記念行事について
- ・出席者：青木理事長、宇野副理事長、金子常務理事、石黒常務理事、
松木理事相談役、羽隅実行委員長、事務局（堀江専務理事、宮坂技術顧問）

4. 各委員会の開催

- ・日時：平成26年9月17日(水)、13時～14時15分
- ・場所：全農薬9F 会議室

「総務委員会」

- ・議題：
 - 1) 賦課金の見直しについて
 - 2) その他
- ・出席者：金井委員長、大森副委員長、橋爪委員、高津委員

「経済活動委員会」

- ・議題：
 - 1) 平成27年度販売奨励条件(案)について
 - 2) その他
- ・出席者：池田委員長、栗原副委員長、田中(秀)委員

「教育安全委員会」

- ・議題
 - 1) 第37回全国集会スケジュールについて
 - 2) 第2回農薬安全コンサルタントリーダー研修会について(報告)
 - 3) 平成27年度農薬シンポジウム開催について
 - 4) その他
- ・出席者：田中(康)委員長、上田副委員長、佐藤委員、廣田委員、松村委員

「IT・広報委員会」

- ・議題：
 - 1)全農薬受発注システム利用拡大対策について(報告)
 - 2)将来に向けた検討課題について
 - 3)その他
- ・出席者：北濱委員長、山本副委員長、金田委員

5. 第267回理事会

- ・日時：平成26年9月17日(水)、14時30分～17時15分
- ・場所：全農薬9F 会議室
- ・議題：

議決事項

- 1)平成26年度決算(案)に関する件
- 2)平成27年度賦課金に関する件
- 3)平成27年度事業計画(案)に関する件
- 4)組合員の加入及び脱退に関する件
- 5)賛助会員の入会に関する件
- 6)平成27年度販売奨励条件に関する件

協議事項

- 1)第49回通常総会(議事)及び第37回全国集会スケジュールについて
- 2)第49回通常総会及び第269回理事会の議長候補選出について
- 3)永年勤続役員・支部長表彰について
- 4)組合員事業所永年勤続表彰について
- 5)全農薬創立50周年記念行事について
(記念誌、記念式典、表彰、記念講演、記念祝賀会等)
- 6)平成26年度植物防疫地区会議について
- 7)平成27年度地区会議について

報告事項

- 1)各委員会報告
 - 2)第2回農薬安全コンサルタントリーダー研修について(結果報告)
 - 3)消費者を交えた農薬シンポジウムの開催報告(新潟県、山口県、長崎県)
 - 4)支部別特別奨励(8月末中間実績)について
 - 5)2015農薬ガイドブック作成について
 - 6)平成26年度役員選考準備委員会報告
- ・出席者：青木理事長、宇野副理事長、金子常務理事、石黒常務理事
松木理事相談役、理事、監事、事務局（堀江専務理事、宮坂技術顧問）

6. 第81回植物防疫研修会

- ・日時：平成26年9月29日(月)～10月3日(金)
- ・場所：一般社団法人日本植物防疫協会本部事務所 B1 会議室
- ・全農薬組合員から25名が受講



この研修は、植物防疫に関する正しい知識と農薬の安全使用について研修を行い、関係者の知識、技術の向上を図り、我が国の植物防疫事業の推進に役立てる目的で、(一社)日本植物防疫協会(日植防)が主催するもので、9月29日から10月3日まで5日間、日植防会議室で開催された。講義内容は、植物防疫行政、農薬行政と関係法規、農薬一般知識、作物病虫害と防除、農薬の毒性試験と安全性評価、農薬の安全と適正使用、作物残留と安全性評価、環境への安全性評価、農薬施用技術、農業用無人ヘリコプター利用、雑草と防除、植物の生育調節等多義にわたり、講師陣も19名の農林水産本省、農研機構果樹研究所、農研機構野菜茶業研究所、(独)畜産草地研究所、(独)農林水産消費安全技術センター、(一財)残留農薬研究所、(公財)日本植物調節剤研究協会、(一社)農林水産航空協会、日植防等、植物防疫の第一線で活躍されている学識経験者が名を連ねている。



研修会の全課程に出席し、筆記試験に合格した者には、日植防理事長から修了証書と全農薬からの出席者には全農薬理事長の「農薬安全コンサルタント」の認定書が交付された。残念なことに3名が追試を受けることになった。(次回開催は、平成27年2月2日～6日を予定)

研修会の全課程に出席し、筆記試験に合格した者には、日植防理事長から修了証書と全農薬からの出席者には全農薬理事長の「農薬安全コンサルタント」の認定書が交付された。残念なことに3名が追試を受けることになった。(次回開催は、平成27年2月2日～6日を予定)

【写真について】

上の写真は100点満点の片山(北興化学)さん、真ん中の写真は、真剣に試験に取り組む全農薬組合員



下の写真は、試験終了後、試験問題について、

熱心に解説する永田徹「植物防疫研修委員会」委員長。

7. 第29回報農会シンポジウム

- ・日時：平成26年9月30日（火）、10：15～17：00
- ・場所：「北とびあ」つつじホール
- ・開会：10：15～10：30 挨拶 理事長 上路雅子
- ・講演：10：30～11：20 一次から六次へ、埼玉から世界へ「今」だからできる農業の可能性（有限会社貫井園 貫井香織）
11：20～12：10 臭化メチル剤から完全に脱却した産地適合型栽培マニュアル（独）農研機構中央農業総合研究センター津田新哉）
13：20～14：10 高知県における天敵を中心としたIPMについて（高知県農業振興部 古味一洋）
14：10～15：00 飼料用米の生産現場での取り組み（岩手県花巻市農事組合法人 遊新 高橋新悦）
15：10～16：00 水稻の減農薬栽培導入に関する経営的・環境評価（滋賀県立大学 環境科学部 増田清敬）
16：05～16：45 総合討論
- ・出席者：宮坂技術顧問

○第29回報農会シンポジウム上路雅子理事長開会挨拶全文



おはようございます。本日は、朝早くから多くの方々にシンポジウムにご出席いただき、本当に有り難うございます。シンポジウムの開会に当たりまして、一言、ご挨拶申し上げます。はじめに、公益財団法人報農会のさまざまな事業に対しまして、常日頃、多大なご支援・ご協力をいただいております皆様方に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。お陰様で、大変小さな団体ですが、公益

財団法人としての活動は着実に進行しております。是非、当協会のHPで事業内容をご覧くださいと存じます。

さて、第29回を迎えた本年の報農会シンポジウム「植物保護ハイビジョン」は、「激動する農業環境における革新的技術と経営的評価」をテーマに設定いたしました。

近年、地球レベルでの環境変動や人口増加に伴う食料供給に対する問題が顕在化しており、さらに、国内農業では農業労働者の高齢化や耕作放棄地の増大、食料自給率の低下など沢山の課題を抱えております。このような局面を打開するため、農林水産省では昨年1月に「攻めの農林水産業推進本部」を設置し、生産現場の潜在力を引き出しその活性化を

図り、農林水産業の中期的展望を切り開くことを目指すことになり、様々な検討が進められています。

まず、攻めの農林水産業の実現にむけて3つの視点が示されました。ひとつは、消費者ニーズに立脚し輸出拡大をも視野に入れた新品種や新技術による強みのある農畜産物を作ること、ふたつ目に大規模経営での省力・低コスト生産体系を確立すること、三つ目が民間の技術やICT・ロボット技術など異分野の先端技術の活用により、従来の限界を打破する生産体系への転換を進めることを掲げております。このため、革新的な技術体系を確立する実証研究を行うほか、異分野の研究成果を農林水産分野に活用するための技術開発を緊急に行い、消費者ニーズに応えた農林水産物の生産などを支援する取り組みが行われています。この動きの中で、昨年12月に全国各地から184の先進事例が「現場の宝」として収集され、例えば、本日、ご紹介いただく「高知県のIPM技術による農産物生産」など、作物保護技術に関する試験研究の成果も含まれました。これまで以上に、科学的根拠に基づき安全な農産物の供給や環境保全を重視した農業生産が求められ、また、農業生産で不可欠な病害虫・雑草防除でも環境に配慮した技術体系が重要とされています。このような環境保全型農業を推進していく一方で、農業生産に係わる経済的な評価も忘れてはならない課題です。



本日のシンポジウムでは、我が国で進められている「攻めの農林水産業」に着目し、今後の方向性について展望するため、5名の先生方にご講演をお願いすることにいたしました。お忙しいところ快くご講演をお引き受け下さいました先生方には厚く御礼申し上げます。

簡単に本日ご講演いただく先生方のご講演をご紹介しますと、最初のご講演は、埼玉県で農業後継者として活躍されておられる貫井先生から狭山

茶と原木シイタケの生産について、生産から販売までの取り組み、特に、アジア、ヨーロッパへの輸出の今後の展望をお示しいただけるものと思います。次に、農研機構中央農業総合研究センターの津田先生に、土壌病害虫・雑草防除剤であった臭化メチルの使用禁止に伴う代替技術について、各種作物の土壌伝染性ウイルス病を対象に開発された栽培マニュアルを中心にお話いただきます。

高知県の吉見先生には、先ほどお話ししました現場の宝に取り上げられている、高知県の施設栽培で積極的に進められてきた各種天敵を導入したIPM体系について、これまでの経緯と今後の課題についてお話いただきます。4番目のご講演は、岩手県花巻市農事組合法

人の高橋先生から、飼料用米の生産について、カメムシ防除、穂いもち防除をはじめとする病害虫・雑草防除作業など、飼料用米生産の取り組み状況をご紹介します。

本日のプログラムの最後は滋賀県立大学の増田先生のご講演です。減農薬水田経営を経済的な観点から評価いただくとともに、環境影響についての分析結果をご報告いただくことにしております。短い時間でのご講演で申し訳ございませんが、宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが、ご講演、座長をご多忙にも拘わらず、快くお引き受けいただいた先生方、企画立案にご尽力いただいた実行委員会の皆様方に心より感謝申し上げます。これからも、皆様方からのご意見・ご提案をいただきながら、さらに充実したシンポジウムになるよう努力を重ねる所存でありますので、この点につきましても、皆様のご協力を宜しくお願い致します。また、シンポジウム終了後の事です、会場を16階に移しまして、毎年開催しております、植物防疫の発展に大きなご貢献がありました功績者の表彰式と祝賀会を開催いたします。多くの皆様にご出席いただきますようご案内いたします。本日のシンポジウム・総合討論を通して有益な一日になりますよう皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

8. 第29回報農会功績者表彰式



(上路雅子理事長挨拶) 朝からのシンポジウム、長時間にわたり、有り難うございました。公益財団法人報農会におきます功績者表彰では、永年、植物防疫に関連する試験研究や事業などに携わった方々、業界の発展や地域の植物防疫行政や技術の普及・指導などにご貢献いただいた方々を対象に功労賞を差し上げております。第1回目が昭和61年、これまで約100名の方々を表彰させていただいております。

今年は3名の方々を功績者として表彰させていただくことになりましたので、ご紹介させていただきます。元大分県農業試験場ならびに病害虫防除所の佐藤俊次様、元岩手県農業試験場ならびに園芸試験場の平良木 武様、本日、体調が思わしくなくご欠席ですが元愛媛県農業試験場の吉岡浩次郎様の方々です。3名の方に心からお祝いを申し上げます。選考経過につきましては、委員長の森田先生よりご紹介いただきますが、お三方とも、植物防疫に多大のご功績を残されておられます。朝からのシンポジウムでお疲れのことと存じますが、ご出席いただいた皆様、どうか、功績者の皆様とご歓談いただき、心からのお祝いをいただければと存じます。簡単ではございますが、表彰式の開会のご挨拶にさせていただきます。



○来賓祝辞（農林水産省植物防疫大友哲也課長）



佐藤 様、平良木 様、吉岡 様のご3名の皆さん、この度は報農会の功労賞を受賞され、誠におめでとうございます。私は、農林水産省消費・安全局植物防疫課長の太友と申します。植物防疫課を代表しまして一言ご挨拶申し上げます。

功労賞を受賞されたお三方は、それぞれの分野に於いて長年植物防疫に関する事業に携わられ、病害虫防除対策の確立、地域の植物防疫行政や技術の普及やご指導等に多大なるご貢献をされたと聞いています。今後ますますご健勝でご活躍されますことを期待しますとともに、長年にわたり植物防疫事業にご貢献いただき、ありがとうございました。

また、報農会におかれましては、植物防疫に関する学術及び技術の振興に関する事業といたしまして、専門家の育成や関係学会等が主催する研究会、シンポジウム等の開催など学術・技術交流の援助、そして木目のように植物防疫の発展に寄与された功績者の方々に対する表彰などの事業を行っていただけており、植物防疫の発展に寄与されているところ誠に大きいものがあります。報農会の理事長をはじめ会の運営に携わる皆様に対し、この場をお借りして感謝申し上げます。

以上、簡単ではございますが私の祝辞の挨拶させていただきます。木目は、本当におめでとうございました。

9. 第15回 IET セミナー

- ・日時：平成26年10月3日(金)14時～17時50分
- ・場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館：3階富士の間)
- ・講演：14時05分～16時05分
 - 1)「遺伝毒性試験結果と遺伝毒性発がん物質：メカニズム評価に必要な追加試験」
東京薬科大学 生命科学部 応用生命科学科 教授 太田敏博 氏
 - 2)「トランスジェニック動物を用いる遺伝子突然変異試験の開発と応用」
国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター
名誉所員 能美健彦 氏
- ・発表：16時20分～17時50分
 - 1)「膀胱コメットアッセイの技術確立とその特性に関する研究」
毒性部 遺伝毒性研究室 主任研究員 和田邦生 氏
 - 2)「国内外の遺伝毒性試験ガイドラインの動きとその影響」
毒性部 副部長兼遺伝毒性研究室長 松元郷六 氏
- ・出席者：宮坂技術顧問

組合員の動き等

〈支部長交代〉

【大分県】

(旧) 久保田幸夫 (株) 温仙堂大分安達営業所 ⇒ (新) 坂梨裕一郎 カネコ種苗 (株)
福岡支店大分営業所

〈安全協幹事交代〉

【大分県】

(旧) 坂梨裕一郎 カネコ種苗 (株) 福岡支店大分営業所 ⇒ (新) 池苗雄二 グリ
ーンテック (株) 大分営業所

【熊本県】

(旧) 崎田健一 (株) 温仙堂熊本北営業所 ⇒ (新) 中村喜彦 カネコ種苗 (株)
熊本支店
(敬称略)

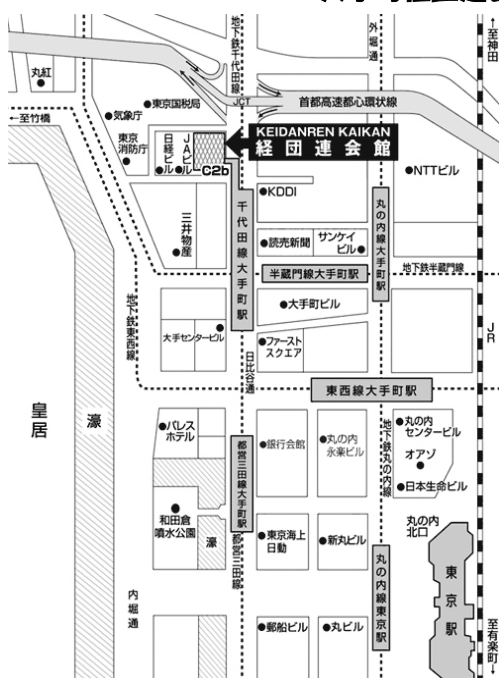
全農薬からのお知らせ

全農薬創立50周年記念式典（東京都千代田区大手町経団連会館）

11月19日(水)都内大手町の経団連会館で

記念式典を開催致します

大手町経団連会館



全国農薬協同組合創立50周年記念行事次第

全国農薬協同組合

1. 開催日時：平成26年11月19日（水）、14：20～19：00

2. 開催場所：経団連会館 国際会議場及び経団連ホール（北・南）

3. 記念行事

第一部 記念式典 14：20～（国際会議場）

（1）理事長挨拶

（2）来賓挨拶

① 農林水産大臣

② 一般社団法人 日本植物防疫協会

③ 農薬工業会

（3）表彰

① 農林水産大臣感謝状

② 消費・安全局長感謝状

（4）感謝状・記念品贈呈

① 東京都中小企業団体中央会 会長感謝状

② 功労者表彰

③ 物故役員感謝状

休憩

第二部 記念講演 15：30～（国際会議場）

講師：田中理恵氏

ロンドン五輪体操女子代表、日本体育大学助教

食材探検おかわり！ニッポン（NHKBS プレミアム）旅人

第三部 記念祝賀会 17：00～（経団連ホール北・南）

以上

醉芙蓉（スィフヨウ、学名： *Hibiscus mutabilis* f. *versicolor*） アオイ科フヨウ属の落葉低木で、名前の由来は朝咲き始めた花弁は白いが時間がたつにつれてピンクに変色する。八重咲きの花で色が変わるさまを酔って赤くなることに例え名付けられた。



原産地は中国及び日本で、花の特徴は、八重咲き、時間が経つにつれて変色していくのが大きな特徴である。

花期は、9月から10月、日当たりの良い肥えた土地を好み、防寒、防湿の必要はとくにない。

我が国では、遠く平安の頃から栽培され人々に愛されてきた。

栽培が古いにもかかわらず、品種はあ

まり多くないのは変異が多くないからで、「醉芙蓉」は芙蓉の園芸品種である。

この時期、全国各地の庭先や公園などどこでも目にすることができる。写真は台風19号が上陸した10月13日の「体育の日」東京上野の国立博物館横で撮影したものである。学名の *Hibiscus* フヨウ、*mutabilis* は変わりやすい、*versicolor* は変色を意味する。



高橋治の小説「風の盆恋歌」には、随所・随所象徴的に、醉芙蓉の花が登場する。熟年になってふと燃え上がる人妻の死に至る破滅の恋を象徴しているのである。

話は変わるが、「醉芙蓉」の花が好きかと問われた隣席の御仁は八王子の豪邸で、小春日和の休日は「醉芙蓉」が植栽されている庭園の西陽の当る縁側から醉芙蓉の花を眺めなが

ら、昼酒を飲み始め、花の紅潮に合わせ、自身の頬も赤変させてゆく。悠久の時に流される如く、花の色に誘われまま杯を重ね、そのままごろりと昼寝をする。これが最高、至福の時と言う。羨ましいかぎりである。

H氏曰く、酒はキンキンに冷やした信州諏訪の地酒、宮坂醸造の「真澄」の「あらばしり」などが理想だが、これは寒仕込みの冬酒のため、この時期には季節が合わない。

辛口の夏酒なら東京福生市「田村酒造」の幻の酒、大吟醸酒「嘉泉」が最高とのこと。

また、最近では舶来の白ワインなどを冷やし、客人に振る舞っているとの噂もある。

酒の肴に「風の盆恋歌」を思い浮かべながら、色々想像するのも楽しい。(M)

【花言葉】 繊細な美、しとやかな恋人